

令和4年度 和光市立大和中学校 第5回 学校運営協議会議事録

令和5年3月17日(金)

時間：10:00～11:30

場所：大和中学校 会議室

【委員】☆委員長

☆深井 宏之 岡本 壮平 加藤 聡司 八木 久仁 新坂 頼子  
川合 香代子 関口 寿子 柴崎 隆史 奈良 一成

【職員】

金子 文春 中島 正晴 森下 泰廉 池田 竜雅

1 校長挨拶

2 委員長あいさつ

3 学校運営報告

- (1)3学期学校教育活動
- (2)第3学年進路先報告
- (3)令和6年度制服変更について

4 協議事項

(1)令和5年度学校経営方針 ◆…学校の発言 ◇…委員の発言

◆なんでも例年通りにいくのではなく、時代の流れに即して変化させていく。大きな変化は混乱を招くが、変えていく。学校教育目標については定着してきている。キーワードの4字熟語も今年度後半から付け加えていったが、根付かせていきたい。

◆目指す学校像についても、一部変えていく。「誰一人置き去りにせず、個に応じた丁寧できめ細かい教育を実践する学校」いまのニーズは本当に多岐にわたる。きめ細かい丁寧な対応や配慮が必要になってきている。すべての要望を聞くのではなく、対話を重ねて、その生徒のためにできることを考え、学習の機会を確保していく。いまもそれらの対応を踏み切っているが、今後

も、困難な家庭に手を差し伸べていく。可能な限り対話や協議を重ねていく。

◆学校が楽しみ、自分の良さがある、凡事徹底の精神を受け継いだ生徒を目指す。一部「他者とのかかわりの中から自他の違いを対話で重ね、お互いを認め、押し付けるだけでなく、聞いたり受け入れた入りしながら、尊重していく。

◆目指す教師像について、教師としてプロとして研鑽する心を忘れない。一人のスペシャリストで解決するのではなく、チームでお互いに共有しながら組織で当たる。経験則に固執せず、常に「何のため？」に立ち戻り、新たな価値を創造する教師を目指す。集団性・心をひとつにして向かっていく等が目的。変化を嫌ってしまう風潮を超えて、変化の風を受けながら新しい価値を創造できる教師を目指す。

◇個に応じた丁寧できめ細かい対応について先生方の負担と働き方改革との両立は？

◆負担は生まれるが、そういった対応は必要になると思う。負担と思わない教師が増えればいい。

◇チームワーク行動とすると、1人の生徒に多くの時間がかかってしまうのではないかと思う。

◆ライフ・ワーク・バランスを取りながら、進めることが大切。という側面もある。

◇やればやるだけ良いと思うけど、先生方も時間もエネルギーも限られている。心配になる。

◆基本方針7つの柱の育成について（説明）

変更点…他を尊重するということ。効果的・教育的→個に応じた丁寧できめ細かい。プロとしての自覚→新しい価値の創造「なんのために？」を考えていきたい。本年度も重点についても、目標等が染み渡るように少し変更を加えた

◇いまの教育活動の変化の流れは欧米化してきているのか？

◆OECDから、解決の糸口が見えない課題について、克服して切り抜けていく力。責任ある行動をとれる力（自立）、対立やジレンマに対処する力、新たな価値を創造する力、が必要になるという、世界の流れがある。欧米だけでなく世界で広くそのように考えられている。

## (2)令和5年度学校行事予定

### 5 意見交換

#### (1)令和4年度学校運営協議会 総括

- ◇学校応援団も立ち上げ、H a h a会を立ち上げた。飛翔祭は楽しかった。  
コロナ禍で入学した、先日の卒業生も高校ではマスク無しで生活できるとよいと思う。主任児童委員としても次年度は学校訪問していきたい。
- ◇一般市民としても、行事ができるようになってきたことに対して良かったと思う。地域としてもサポートしていきたい。
- ◇できなかつたんだけど、できるために工夫する1年だった。先生も生徒もこうしたらできるんじゃないか。と考える力を養えた1年だった。違った形で新しいステージを作ればいい。様式美が、卒業式は良かった。
- ◇今後も学校、学校関係者、地域の皆様の健康に協力していければと思う。
- ◇学校応援団が組織され、おやじの会で環境美化の方でお手伝いした。  
キャリアサポートの方で、仕事の話を生徒にした。反省もあったが、こちらとしてもよかった。コーディネーターが繋いでいくことと、最後まで仲介していくことの難しさがあった。  
学校応援団組織の各担当の先生方との協働が難しかった。先生方から、丸投げ・なげやりな形にならないといいと思う。
- ◇コロナ禍だからこそ、・・・という言葉が印象に残っている。  
学校応援団では、読み聞かせを担当している。3月に大石真をしらない生徒が多い。郷土の物について触れさせたい。先生方からもリクエストがあると嬉しい。来年度もできることをやっていきたい。  
校長先生の熱い思いは生徒にも伝わっている。

### 6 その他

#### (1)令和5年度学校運営協議会委員について